

平成 25 年 3 月 5 日

南会津町議会議長 芳賀沼順一 様

議会報告会 C 班 班長 山内 政

議会報告会（C 班）報告書

議会報告会の内容とその結果について、下記のとおり報告します。

1. 目 的

議会の活動状況や町政の情報などを地域の方々に報告・説明し、議会活動と町政に対するご意見、提言などを直接聞き、議会の審議機能の充実及び活性化に資する。

2. 日 時：平成 25 年 2 月 24 日（日）午後 1 時 30 分より

3. 場 所：田部生活改善センター

4. 出席議員：楠正次（司会）、芳賀沼順一、山内政、湯田哲（書記）、 大竹幸一、湯田良一（アンケート集計）

5. 参 加 者：15 名

6. 報告事項及び内容は以下のとおり

山内議員：田部地区関連で、田島第 2 小学校の放課後児童クラブで子供たちがこの田部原生活改善センターを使うので、トイレを簡易水洗へ修繕する予算が 12 月につきましたことを報告します。

楠議員（司会）：何か質問ありませんか。

Q：4000 万円の新たな積み立ての話があったが詳しく説明して下さい。

A：震災直後、各市町村に最初に県から 2 億円がきました。その後 4000 万円が各町村平等割できました。人口割りで 937 万 6 千円が追加分できました。現在 2 億 4 千 9 3 7 万 6 千円が東日本震災復興支援交付金が南会津町が基金として持っていることになります。

Q：それは何に使うのか。

A：23 年から 27 年まで福島県市町村復興支援交付金というお金 2 億円 400 万円がきました、次に放射能や風評被害があり福島県ブランドイメージ回復支援市町村交付金 4 千 9 3 7 万 6 千円がきましたがそれはまだ使っていませんがブランドイメージ回復など使われることになっています。

Q：2 億円 400 万円はすでに使っているのですか

A：風評被害対策などにいくための旅費などに使われています。

Q：ならば計画書を作成し、風評被害をとっばらうため首都圏にあってトマト、りんどうなど配ったりチラシを配ったり PR してき場合などそのためのお金が出るのか。

A：具体的には総合政策課で担当しておりますので物産展の開催、新商品の開発、イベントなど・・・ただ個人の場合にはだめですね。団体に限りますね。

A：これに関しては役場の担当課と話しをし、後日区長に報告します。

Q：せっかくいろんな制度や補助があっても、実行にいたる前、お金がきて利用法が分からなかったり・・・たとえば下郷町の大内部落では震災直後100万人の観光客が50万人になったそうです・・・湯島運輸のラッピングトラックで観光 PR しています。本町でもそのような取り組みをすべきと思うが。

A：私たちが首都圏へ行って様々な PR をしてきました。都庁にいたり・・・ふるさと南会津町会や・・・

(司会)他に何か質問は

Q：観光についてですが、数日前に町内の区長さんと話す機会があり、祇園祭のお党屋本になると大変であることを聞きました。町の観光を考えると祇園祭が一番だと思う。祇園祭がなくなればお客さんが来なくなって下郷や若松に素通りしていくのでは。そのお党屋本をやる人は少なくなっている現状について町は何かすべきではないか。これについて議員はどう考えていますか。

A：これについては議会の中でも出ています。現在、町でも多少の負担は出しています。神社そのものには出せませんが、国の文化財になっているのはお党屋制度そのものですから、この制度を守るため町は支援することになっていますので。これについては特に議員がその問題を議会で質問をしています。

(司会)他に、12月議会ではみなさんの身近な問題が少なく、補正など・・・(22:30)

Q：291号議案の本町の屋台格納庫の会館について、集会所もかねた会館で国の補助制度を使っていると聞いたが、少し詳しく説明を。エアコンがセットになっている制度で電気代が大変だと聞きました。この田部の集会所も40年経ちまして、そろそろ立て替える時期で積み立てをしています。今、町の補助は半分ですから、建設に3000万円のかかるとしてその半分といっても大変な金額なので、何かいい制度はありませんか。

A：川島地区でつくった直売に利用するという条件で、建設費の一部として農林関係の補助金が出たと聞きます。

Q：只見の話とか館岩の話を聞くと、2回目の生活改善センターの立て替えしていると聞きます。自力でやるといっても1割、2割が出せるのが精一杯で、3000万円のうち半分の1500万円は出せないのが現実ですから、放課後児童保育ができるような施設をかねた・・・何か良い制度があったら教えて欲しい。

A：これらについては数字などもありますので持ち帰りどこまで、補助金が出ているのか調査してから区長に報告します。

Q：田部地区の温泉掘削後についても途中でやめてしまいました。その後どうなっているのか、ボーリングなど計画があるのか、田島も温泉があれば活気ができるのでは。

A：温泉については何度か質問しました。温泉調査の情報も公開すれば、民間活力によって・・・

A：民間で掘る人がいれば田部のそのボーリング後地を当時の町長は譲りますと言っていました。10人くらいに声をかけたが誰もいませんでした。

Q：その掘削跡地の地代の年間5万円、草刈りなどやって1万、2万円を支払っているのはおかしいと思う。長い目でみたら5万円だって大変だ。議会では問題になっていないのか。

A：私もこの問題2回ほど質問しているのに、そのままでおいたことは申し訳ありません。再びここで言われて思い出しました・・・

Q：持ち帰って町長に何とかして欲しい。

A：第三セクターのスキー場の存続について、高畑スキー場だったら桧枝岐の人達も働いている。南郷スキー場だったら只見町から・・・みなみやま観光についても、夏の収入のあるようなやり方を考えるべきだし、中堅クラスの社員が無報酬でやるとか、針生発電所についての途中経過は、黒磯道路については・・・働く場所の確保は

A：第三セクターのスキー場については、指定管理者の期限が切れますので今回新しく公募し、民間会社が何社か手を上げています・・・

A：先ほどの桧枝岐と只見町とのスキー場を一緒にやる話は、町長同士では言えないだろうから、それぞれの議長に言っています・・・

A：タウンミーティングにおいても専門的スキー場経営する会社にまかせればという話も出ました。民間会社の中には、町からの指定管理料をもらわずとも黒字にできるといほどの会社も手を上げています。就労の場所として重要なスキー場が、民間経営となったとたん、雇用が全くなってしまうようなことがないように議会でも注視していきます。

A：修理などお金も含めて4つ合わせて年間2億円を出しています。これが3億円となってどんどん赤字が膨れ上がった場合、はたしでそれでもやっていっていいのかという声もありますので

A：次の質問の水力発電の経過について

A：パシフィックコンサルタンツによる水力発電可能調査をしました。田島ダムでは15キロワット程度で実用性はないだろう、旧針生発電所の場合480キロワット前後の規模で、針生発電所は昭和6年から37年間動いていました。当時と同じような規模ということになります。10月5日に県指導の日本工営株式会社・・・

Q：町で売電をしないという考えなんですな

A：後から入ってきた企業が、調査した内容については町と秘密保持の契約をした、その会社に優先的にやらせますよ・・・産業建設委員会としては新エネルギーについて勉強してきました。提案もしました。そこでいきなりこういった形になることは非常に残念です。委員会としては小水力についてはそういうことです。

Q：私も委員会と同じように疑問をいただきます。先ほど話された四国のその町も財政3億の町が5億かかる風力発電をやる時に、町が二分されるほどの大騒ぎしながら、町長が強行突破してやっていった結果、1年間で四国電力に5000万円で売って、それが太陽光になっていってという話しが私の記憶にあります。この話しを聞いたら水力発電には疑惑を抱きたくなるような・・・

A：この問題については、しっかりと調査会社で町民に公表して意見を頂くことになっていますので、どういう方向がいいのかなど確認して頂きたい、是非そういう公聴会には参加して頂きたい。議会も発信していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

A：黒磯田島線についてですが、町道の時には行ったり来たりできました。旧田島町、黒磯でも道路の管理をしていました。県道になってから栃木県も福島県も危険ということで管理をしなくなってしまって、現在は不通です。今、私と議長で国会に行った時に町長が提案をしているの

は、小出原からトンネルということを提案をしていこうということで話しをしております。約4キロメートル程度のトンネルで黒磯に抜けてしまいますので、国会の先生方にも話しをしております。ここで皆さんに報告しておきます。

Q：通学路の件について

A：土地の問題があってまだ決定していません。

Q：基盤整備について議会としても協力してほしい。

A：議会も協力します。